

<b>授業科目名</b>	人間教育学ゼミナール（応用）(2100310)		
<b>時間割名</b>	人間教育学ゼミナール（応用）(54105)		
<b>時間割担当</b>	鎌田首治朗		
<b>実施期</b>	通年	<b>単位数</b>	4 選択
<b>曜日・時限</b>	金・4		

### 授業の目標・概要

卒業研究に向けて論文や制作活動を行う。自らの専門分野についての研究をまとめ、形にすることによって、自らの人間教育学に関する学びの集大成とする。

### 学習の到達目標

- 社会人、教職を目指すものとして必要な資質・能力の育成をめざす。
- ・とりわけ、他者理解、自己理解の力と困難に立ち向かう力を磨く。
- ・自分の意見、理由【根拠】を簡潔に述べる力を鍛える。
- ・題意を理解し、自らのエピソードを具体的に述べ、自分の意見、理由【根拠】、まとめの大段落構成で自身の意見を論理的に説得力をもって述べる力を鍛える。
- ・多読の力を鍛える。

### 授業方法・形式

具体的な教育課題、論文に対する自分解をつくり、それを他者と交流し、自分解を深める学びの道筋を自覚して取り組む方法をとる。  
自分解をつくる機会は、面接形式と小論文形式で行う。

### 授業計画

- 1 ガイダンス 「人間教育学ゼミナール」の意義、目標、授業方法
- 2 ガイダンス 目標設定と研究計画
- 3～5 研究計画に基づく情報、文献収集
- 6～8 研究計画に基づく情報、文献精査と研究概要の作成
- 9～11 概要発表、意見交流による研究計画と概要の検討
- 12～15 概要発表、意見交流による研究計画と概要の再検討
- 16～17 研究計画と概要に対する指導・助言
- 18～22 研究論文の作成
- 23～25 研究成果発表、意見交流による研究論文の検討
- 26～28 研究成果発表、意見交流による研究論文の再検討
- 29～30 1年間の研究成果のまとめ

### 成績評価の基準

学習の到達目標に向かう態度、ゼミ臨む態度  
研究発表・意見交流を行う量  
研究発表・意見交流における資料・内容の質  
以上 ～ を総合的に評価する。

### 授業時間外の課題

- ・指定した課題をやり切ること
- ・文献等を通して、教育課題に日常的に見識を深めること

### メッセージ

- ・人格の完成の道を自分は歩もうとしているか常に自問自答しましょう。
- ・日々の積み重ねが自分を決め、自分を磨きます。教育課題に対する見識を深め、文献を読み、自問自答し、自分のあり方を深め、磨く行為を自分から行いましょう。

### 教材・教科書

授業の中で指定する。

### 参考書

授業の中で指定する。